

会 議 録

会議名 (審議会等名)		第35回 相模原市地域公共交通会議【文書協議】		
事務局 (担当課)		まちづくり計画部 交通政策課 電話042-769-8249(直通)		
開催日時		【協議期間】令和2年12月3日(木)~令和2年12月14日(月)		
開催場所				
出席者	委員	16人(別紙のとおり)		
	事務局			
公開の可否		可	不可	一部不可
		傍聴者数		
公開不可・一部不可の場合は、その理由		新型コロナウイルス感染拡大防止のため、文書協議にて実施。		
会議次第		<p>【協議事項】</p> <p>(1) 原宿五丁目~小沢線の廃止及び橋本駅~小沢線の見直しについて</p> <p>(2) 地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持計画)の事業評価について</p> <p>【報告事項】</p> <p>(1) せせらぎ号のダイヤ改正について(一部修正)</p>		

審議経過

新型コロナウイルス感染拡大防止のため文書協議で実施。

(は委員の発言、 は事務局の発言)

【協議事項】

(1) 相模原市バス交通基本計画の進行管理について

協議内容は資料 1 のとおり。

原案のとおり全会一致で承認。

(2) 地域公共交通確保維持改善事業 (地域内フィーダー系統確保維持計画) の事業
評価について

協議内容は資料 2、別紙資料 1、別紙資料 2、別紙資料 2 - 2 のとおり。

○別紙資料 2 - 2 「目指す姿」に以下を追記することを提案する。

「市税適正使用の観点から、利用者が目標を大幅に下回った場合は積極的に廃止を検討する。但し、廃止する場合でも、当該地域住人の日常品の買い物や通院などに支障が生じないように、代替サービスをセットで検討する。」

吉野・与瀬地区を含む乗合タクシーの制度で運行継続条件を設定している。この運行継続条件を満たせなかった場合は運行内容を見直し、2年続けて改善が見られなければ廃止する制度となっているため、制度運用の中でご提案いただいた内容を検討していく。

○住人の足確保は、一例として、タクシー代補助もあり得る。週2往復に限り、指定目的地までタクシーに乗れて、実運賃との差額を市が負担する、のような施策なら、今よりコストカットになると思う。市議会議員を交えて期限つき条例制定 (利用者が増えたら当然、当該条例は廃止して現状に戻す) を検討していただきたい。

タクシーを活用した取組みについては、現在実証運行中のデマンド交通等により検証しているところである。ご提案いただいた内容は、本市の交通の状況と照らし合わせながら引き続き検討していきたい。

○本当にポケット時刻表が有効か。カレンダー付、A3サイズ程度の時刻表はどうか。もしマンパワーがあるなら、紙を持って、係が各戸を訪問すると、住人と役所との距離は格段に小さくなる。

利用促進活動は、地域住民で構成された利用促進協議会で一緒に検討している。ご提案いただいた内容も含めて有効な利用促進活動を検討していきたい。

原案のとおり全会一致で承認。

【報告事項】

(1) せせらぎ号のダイヤ改正について (一部修正事項)

報告内容は資料3のとおり。

意見等なし。

以 上

令和2年度相模原市地域公共交通会議 委員名簿			
	所 属	役 職	氏 名
1	横浜国立大学	副学長	中村 文彦
2	東洋大学 国際学部 国際地域学科	教授	岡村 敏之
3	一般社団法人 神奈川県バス協会	常務理事	小堤 健司
4	一般社団法人 神奈川県タクシー協会相模支部 相模原地区会	地区長	大畠 雄作
5	神奈川県交通運輸産業 労働組合協議会	事務局次長	高橋 和彦
6	神奈川中央交通株式会社	運輸計画部次長	露木 輝久
7	国土交通省関東運輸局 神奈川運輸支局	首席運輸企画専門官	小泉 伸介
8	神奈川県警察本部	都市交通対策室長	阿部 勇
9	神奈川県県土整備局都市部	交通企画副課長	山際 健一
10	相模原市自治会連合会	理事	志村 勝美
11	特定非営利活動法人 男女共同参画さがみはら	理事	中西 知子
12	公募市民	公募委員	中島 毅俊
13	公募市民	公募委員	飯塚 重善
14	公募市民	公募委員	大塚 章
15	相模原市	道路部長	小池 稔
16	相模原市	まちづくり計画部長	椎橋 薫